

～子どもの育ちを応援する情報を発信～

のびのび通信

5
2021

甲賀市発達支援課 R3.5（隔月発行）

発達支援課のマスコットキャラクターが誕生しました。『発達支援』を身近に感じ、親しんでもらえるとうれしいです。

発達支援課で配布している『ここあいバスポート』（相談支援ファイル）に、今年度は僕たちのシールがついてるよ。



発達支援課マスコットのびるん



発達支援課マスコットはあとん

作業療法士さんに質問！

かんかくとうごう

感覚統合ってなあに？

今年度の『のびのび通信』も、いろんな職種からお伝えします。

お子さんの行動の背景を考える視点の一つに「感覚統合」という考え方があります。今回は、「感覚統合」について、発達支援課（児童発達支援センターつみき）の作業療法士さんに質問しました。

Q1. 「感覚統合」ってなんですか？

私たちは、普段から体の様々な感覚を通して自分の体の動きや状態、周囲の状況が分かり、その場にあった反応や行動をしています。様々な感覚を通して脳に伝わる刺激を感覚情報といい、感覚情報を頭の中でうまくまとめることを感覚統合といいます。

Q2. 「感覚統合」につまづきがあるお子さんの特徴は？

抱っこすることを嫌がり反り返る、動きが活発で目が離せない、姿勢が悪い、気が散りやすい、手先が不器用、真似が難しい、力加減が分からず友達を押してしまう、集団の中に行くのを嫌がる等、様々な場面で育てにくさや困り事が出てきます。また、偏食、睡眠が浅い等、生活全般に影響していることもあります。

Q3. なぜつまづきがおこるの？

感覚情報を頭の中でうまくまとめることが難しいと、自分の体を上手に動かせなかったり、場にあった反応や行動が難しかったりすることがあります。例えば、人の動きが多い、音がにぎやか、外の光がまぶしいなどの刺激（感覚情報）が多すぎて頭の中でうまくまとめられないと集団の遊びや活動に入れないこともあります。

Q4. 家庭で取り組めることは？

子どもが「やりたいなー」と思える体を使った遊びや活動を大人と一緒にすることがポイントです。ブランコ、うんてい、砂遊び、ボール遊び、お散歩、お風呂での泡遊び、押し相撲などいいですね。

新年度が始まって、1か月あまりがたちましたね。発達支援課発行の『のびのび通信』も2年目を迎えました。今年度は隔月発行（奇数月）となります。子どもの育ちを応援する情報として参考にいただき、『発達支援』を知るきっかけになるようにと思っています。



「児童発達支援センターつみき」も誕生しました

昨年度までの『こじか教室』と『幼児ことばの教室』を統合して、新たに『児童発達支援センターつみき』が開所しました。障害福祉サービス受給者証の支給を受けた方が利用する施設ですが、地域に向けた学習会などの開催も予定しています。



甲賀市ホームページより 『児童発達支援センターつみき』



つみきの広場

今回は、感覚統合の視点も取り入れた遊び『布ブランコ』を紹介します。



タオルケットなどの上に子どもが寝ころび、大人が両端を持って揺らします。布にくるまれて安定した姿勢で揺れる感覚を楽しむことができます。

布ブランコで揺れる刺激には、脳の目覚め具合＝覚醒を調整する機能があります。一定のリズムで揺らすとリラックスに、大きく揺らすとスリルを体感することにつながります。

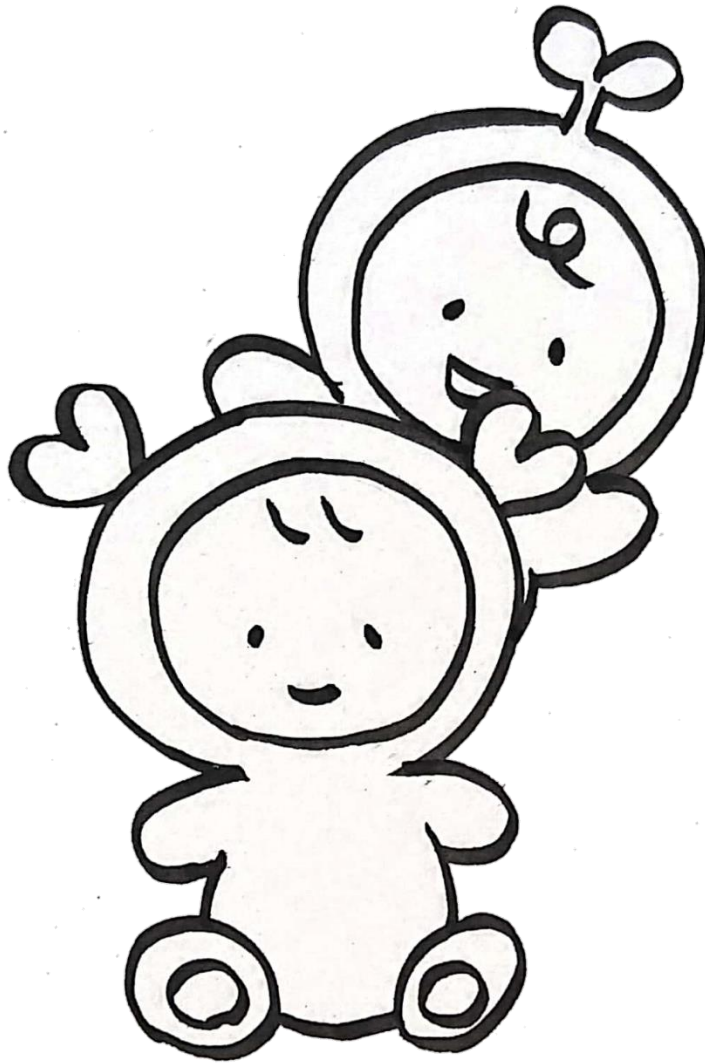
お子さんに合わせた揺らし方で楽しんでみてください。



このコーナーでは、児童発達支援センターつみきで行っている遊びや活動の中から、家庭でも楽しめるものを紹介します。

ぬりえ

はあとん
です



のびるん
です

すきないろで ぬってね

